

Q & A

委員会の審議内容

常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ & Aにて掲載します。

総務常任委員会

◆ 議案第9号

飛騨市子ども予防接種費助成条例の一部を改正する条例について

Q 水痘が定期接種になった背景と接種の回数。

A 水痘は小児の病気で9歳以下の発症が90%以上、重症化による熱性痙攣・肺炎・気管支炎等の合併症のリスクを回避するため。1回目が1歳から1歳3ヶ月まで、2回目が1回目の後6ヶ月から1年までに接種。

Q 満15歳まで対象範囲が広がっているのは。

A 接種していない方で水痘瘡を防ぎたいとの希望もあり小児枠範囲の15歳までとした。



◆ 議案第11号

飛騨市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 小規模多機能型居宅介護事業に参入したい事業者があると聞いたが現状は。

A 市としても拡充を図りたいサービスで呼びかけしており、29年度に参入意向の事業者が1事業者ある。

Q 多機能型のサービス等内容は。

A デイサービスと訪問ヘルパー、ショートステイの居宅介護における中心的サービスを一つの事業所で提供するもので、ケアプラン作成も同じ事業所で行われる。自宅と事業所の2箇所を舞台に、その時々状態に応じて、それぞ

れのサービスが柔軟に提供される。そのため介護者の介護負担もかなり軽減され、利用者も顔なじみのスタッフにより安心してサービスが受けられる。

Q 条例改正で参入しやすくなったが、働く人がいないどう克服していくのか。

A 今できることとして介護職の入門資格である介護職員初任者研修費用の助成制度を設けた。新たに介護職の目指す方々を増やしていきたい。

産業常任委員会

◆ 議案第118号

飛騨市いつまでも安心して暮らせるまち創生条例について

Q 推進体制と具体的な進めかたは。

A 人口減少対策実行プランによる内部組織、有識者会議、地域活性化会議等の意見を取り入れながら推進する。

Q 第4条の事業者とは。

A 企業(団体含む)、商店等。基本理念は。

A 人口減少社会に対応したまちづくりを基本。

Q 持続可能な人口に目標設定して進めるのか。

A 人口分析したうえで設定していく予定。

◆ 議案第120号

飛騨市女性活躍推進基本条例について

Q 意見聴取のメンバーの女性の比率は。

A ワーキングミーティングでその都度検討。

Q 女性の立場から意見が集約するためにできるだけ女性の参加を。

A 女性の意見は大切、そのようにしたい。

◆ 議案第20号

飛騨市起業化促進条例を廃止する条例について

Q これまでの利用は。

A 平成16年から26年で14件。今年度4件。

Q 廃止の理由は。

A 補助対象経費、限度額等がより有利に活用できる新たな

な制度へと移行することに伴うもの。

◆ 議案第38号

飛騨市廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例について

Q 廃止される施設はどうか。

A 松ヶ瀬清掃工場は取り壊し、飛騨市資源リサイクルセンターは検討中。

Q 飛騨市リサイクルセンター統一で分別は変更あるのか。

A 地域に向向き、ご意見を聞きながら検討する。

◆ 議案第39号

飛騨市林業総合センター条例の一部を改正する条例について

Q 利用はどのように変わるのか。

A 一般の方や夜間利用ができるように変更。

Q 薬草研究グループがボランティアで使用されているが利用料が必要か。

A 使用されている部屋は森林組合の施設内の部屋であり、市の管理ではない。

二十七年当初予算審議 予算特別委員会 Q&A

総務部

Q ふるさと応援寄付金は積極的にするべきでは。

A 積極的にしている。収入は実績に応じた金額で計上している。

Q 長崎県の平戸では13億円の寄付金で、お礼は4億円の予算。実績は3億程度だが飛騨市は。

A 1700万円のうち360万円くらい使う。有効な財源とは認識している。

Q 現在秘書課対応だが正職員を配置して対応したらどうか。

A 専門部署は考えていない。現状を検証する。

Q 軽自動車税前年比200万円増の台数は。

A 4輪車が毎年100台以上伸びている。

Q 4月より軽自動車税が上がるがその影響は。

A 平成27年4月以降の新規登録からなので来年度からの増収になる。

Q 民間バスの差額負担とは。

A 神岡～高山間のバス路線などへの料金に充てる。年間1500万円と考える。

Q 災害弱者の名簿は自治会などに配布できるはずだがどうなってるか。

A 名簿は福祉部局で作成中。自主防災組織などに配布を予定している。

Q 税のコンビニ収納手数料は市の負担か。

A 1件57円の手数料で計算。

企画商工観光部

Q 地域資源を活かした持続可能な地域づくり推進事業の内容は。

A 3年後の自立に向けた組織の再編。

Q これまでのリクルートの調査はどうなるのか。

A 2年間調査した結果を生かし、旅行事業者への支援もするようにした。

Q 地域資源を活かした持続可能な地域づくり推進事業の内容は。

A 地域おこし協力隊員を募集する事業。

Q 希少伝統産業は公募で行うのか。

A 地元で1名の方が希望されたので任意で行う。

Q 女性の社会進出促進で企業に對しての期待は。

A 働きながら子育てができるような推進や、産休時の代わり賃金の一部負担など。

Q 市内の高校の入学率が悪い。魅力ある高校づくり事業との関係は。

A 高校からの要望で道路整備した。バスの見直しを公共交通会議に指示した。

Q 飛騨市に移住希望などあったときの窓口はどこか。

A 企画課で移住相談所の看板を出す予定。

Q レールパーク事業の実施時期と内容は。

A レールの上を走行できるかの調査を行う。走行不能の場合は陸送。機関車1両、気動車1両を移動する予定。時期は早めに行う。

Q 集落活性化支援事業の内容は。

A 主体性を持って協力隊を作りそこに支援していく。

Q ふるさと納税は産業振興の意味もある。観光商工の政策にもかかわるのではないか。

A 特産品や観光商品を増やす方向で検討する。

市民福祉部

Q 入園入学祝金制度。小中は入学時だが、保育園は毎年入園になる。どのタイミングでするのか。

A 保育園は年少児の入園児に行う。年少で入園しない場合は年中や年長で1回支給。

Q 和光園は移転新築なのか。

A 老朽化したものを新築または改築したい。新築だと場所の問題、改築だと一時的に住む施設の問題がある。

Q 高齢者雪下ろしは50万円であるのか。

A 22～25年度は年間30件、26年度は52件。予備費110万円に対応した。

Q グループホーム18床はどこか。

A 古川町内で1ユニット9人が2ユニットの予定。

Q 不妊治療助成金を出す理由は。

A 子供がなかなかできない時に多額の治療費がかかるため助成する。

Q 割石温泉は老人福祉センターであるが老朽化した場合の今後の方針は。

A 以前神岡町では自宅の風呂が無い家が多かった。割石温泉を利用する前提で建てられた。今後は風呂の調査をして考えていく。

消防本部

Q 防火水槽分担金。要望数と点検はどうなるか。

A 要望は水槽で24件で修繕と新設がある。現地確認で優先度判断する。

Q 一度に対応できるのはどれくらいか。

A 水槽の漏水の多いところが上位。周囲の水利の数により新設の上位を判断。

Q 防災ヘリへ派遣した職員は地元でヘリに乗ることはあるのか。

A 防災ヘリやドクターヘリを依頼したときに重要な助言をすることで活用する。

Q 任期後の再派遣はあるのか。

A 隊員は県内の各消防本部から輪番制で派遣される。

Q ポンプ車、積載車の更新。更新基準と用済み車はどうなるのか。

A 更新計画は部品調達の関係で20年をめどにしている。

20年の走行距離は5千k、1万k。廃車になるものはオークションに出品。

Q 報償費があるが何人退団するのか。

A 基本団員35人。昨年は82名いた。

Q 入団者は何人。

A 平成27年は基本団員25名。支援団員15名。

Q 火災報知機の設置率は。

A 全国79%、県80%、市83%。

Q 報知器の寿命は10年と聞いたがどうか。

A 電池交換が必要。電池の点検で十分と思われる。

環境水道部

Q マイマイガ駆除で半額補助、上限3万円。この金額はなぜか。

A 薬剤購入にかかる補助。事業費6万円で計画。

Q 作業委託料の範囲は。

A シルバー人材で不法投棄に対しての作業。

Q EMぼかしの配布は家族構成により量の増減ができないか。

A 年間7300kgの生産が限界。要望を聞いて検討す

る。

Q チューリップ球根代金の目的は。

A 区や自治会での購入に対して半額助成。

Q 火葬業務の内訳は。

A 光明苑900万。松ヶ瀬470万。

Q 吉ヶ原し尿処理の今後の対応は。

A 下水道帆普及と同時に減少傾向。維持管理や効率化を考え慎重に対応する。

農林部

Q 多面的機能支払交付金の団体数と面積は。

A 30団体で面積は769ヘクタール。

Q 山之村ミラノ万博出展。生産量などは。

A すすしろグループ11名。

Q 平成25年度は1386kg。

Q 団地集積協力金。新規就農者は。

A トマトで1名。市内の方。

Q 雪害被害で林道と作業路の管理は。

A 林道は市、作業路は所有者が管理する。

Q 農業支援対策は。

A 果樹園の被害1億円超える。県と市で補助する。

Q 6次産業化補助金、決まっているのか。

A 農業団体からの要望で県100%補助。

基盤整備部

Q 釜崎く朝浦線状況は。

A 2橋中の1橋の下部工事を行う。交差点地点の改良工事。

Q 神岡振興事務所耐震工事。内容は。

A 耐震補強は「いながら施工」。内部改修もあり調整して行う。

Q 三ヶ区用水の水不足が心配だが。

A 現状では十分だが、取水期には管理していく。

Q 克雪住宅補助。これまでの利用は。

A 1987件。6億7千万くらい。

Q 橋梁の調査。順番など

A 法的な点検は県に一括発注している。

Q カラー舗装はどこですか。

A 歩道のないところで安全

確保のため行う。

教育委員会

Q 流葉ジャンプ台の解体時期は。

A 8月までに発注したい。モノレールを使い工事を行い12月までに完了。

Q 神岡図書館は28年春オープンでいいか。

A 耐震工事の関係もあり4月は無理の可能性もある。

Q 図書館のコピー機は蔵書以外の物も有料で一般利用できないのか。

A 利用できるようにしていく。

Q トレーニング施設の今後のプロセスは。

A 使いやすい場所で、市有地を利用して作る。古川町の市街地に作りたい。

Q 神岡図書館の雑誌が少ない。

A 27年度から増やしていく。

Q 中学校の部活動は全員加入が基本か。

A 学校長の判断による。原則全員加入。

Q 部活は最初だけいて他の活動に行く生徒もいる。知っ

ているのか。

A 承知している。子供たちにとって一番いい方法を考えていく必要がある。

Q 給食費の金額はどうか。

A 消費税8%になった時も現状維持した。今年も値上げはしない。ただ、物価の高騰が著しい場合は年度途中でも検討する。

病院管理室

Q 発電機購入90万円は。

A 河合・宮川診療所で使う。1台42万円。

Q 使うものと発電量は。

A 電子カルテ関係や照明。発電量は2kv/h。

Q 非常時にはもつと発電量が大きいものがないのではなか。

A インバーター付きで移動しやすいものにした。

Q 停電時は自動で起動する

A 自動的には起動しない。

Q 老健とかはらの介護士は

A 日勤者はいるが夜勤対応者が不足。